

団体名

糸満市立糸満小学校

連絡先 TEL : 098-994-2013

Eメール itosyo@itomans.city.itoman.okinawa.jp

1 実践事項②

読むこと「説明的文章」における思考力、判断力、表現力等の育成
～「言葉による見方・考え方」を働かせた学習活動を通して～

2 実践内容

- (1) 児童の実態把握 (4月 全国学力・学習状況調査, 県「学びのたしかめ」, 標準学力検査等)
- (2) 目指す児童像の共有, 「国語科におけるカリキュラム・マネジメント」理論研究 (4月 校内研)
- (3) 各学年による単元配列の確認, 「言葉による見方・考え方」を働かせた学習活動に向けた教材研究 (4月～ 週時程に位置づけを行う)
- (4) コロナ禍における学びの保障のための効果的なICT活用の共有・実践 (5月～ 随時)
- (5) 研究授業実践 (6月 島尻教育事務所指導主事招聘 11月 県学力向上推進室指導主事招聘)
- (6) 標準学力検査の実施 (12月 全学年)
- (7) 研究の振り返り (2月 児童の変容把握, 授業計画及び実践の反省及び修正)

3 説明資料



4月 校内研修



学年研究会 (単元配列確認)



5月 ICT活用勉強会



6月 提案授業の様子



6月提案授業後の研究会



11月 研究授業後の反省会

4 成果

- 単元の導入時に「学習のゴール」や評価基準を明確化することで児童が見通しを持ち意欲的に学習に取り組むことができるようになった。
- 研究授業後の指導主事の助言により, 授業改善のポイントや支援を要する児童への手立て等について視野が広がり, 教師個々の授業力向上につなげることができた。
- 教師間で教科指導に関する意見交換がよく行われた。特にICT活用の面では自主的に勉強会を持ちオンライン授業に向けて教師個々のスキルが向上した。

5 課題

- 諸学力検査において, 国語科・算数科ともに, 初見の問題の意味をしっかりと把握することや条件を満たして記述すること, 必要な情報を取り入れて表現することが課題として見えてきた。
- 児童が初見の問題に慣れることができるように, カリキュラムの中で問題演習の時間を入れる必要がある。